インターネットと連動した 【滋賀生活情報紙】

この情報紙は「滋賀ガイド」と提携しています

智力ナド www.gaido.jp

vol.265・4月16日号 毎週木曜発行 4面にプレゼント情報!

●Oh!Me編集室/株式会社ヤマプラ:近江八幡市桜宮町294 TEL0748-34-8872 FAX0748-34-8927

津田ホール(JR千駄ヶ谷駅前)

- ●広告/滋賀毎日広告社:大津市打出浜3-16 TEL077-522-2603
- ●発行/毎日新聞大阪本社開発宣伝部:大阪市北区梅田3-4-5

発行部数:100,000部



第26回定期演奏会(08年7月)の様子

結成以来27年目を迎え、5月22日の 東京公演(東京都渋谷区千駄ヶ谷・ 津田ホール)に向けて準備に余念が ないフルートオーケストラ「湖笛の会」 の皆さんが今回の素敵な人。

滋賀県在住の女性だけで結成

湖笛の会は82(昭和57)年に会長の松山 党子さんや、代表の中山登志子さんら が中心になって滋賀県在住の女性フルー ティストに呼びかけて結成された。現 在、メンバーは25人。

会長の松山さんは、「高音楽器という イメージのフルートですが、私たちの 演奏を聞いて音の幅の広さに驚く方が たくさんいらっしゃいます。これから も湖笛ならではのサウンドを作ってい きたいと思います」と言う。松山さん は東京芸大卒で、日本フルート協会の 常任理事を務めるかたわら、湖南市の 市議会議員も務めるパワフルな女性。

滋賀県文化奨励賞を受賞

「湖笛の会」は毎年の定期演奏会はもち ろんのこと、国内外での長年の音楽活 動が高く評価され、92(平成4)年に滋 賀県文化奨励賞を受賞。

また、日本の童謡を中心にまとめたCD 「湖の四季」も出し、高い評価を得ている。

結成当時から松山さんを助け、苦労を 共にしてきた中山さんは「クラシック は敷居が高いと思われがちですが、子 どもから大人までたくさんの人に楽し んでもらえる音楽をお届けしていきた いと思います」と抱負を語る。

さらに「これまで、皆でアイデアを出 し合い、曲をアレンジするなどして活 動を続けてきましたが、私たちの演奏 を聞いてこれからもたくさんのフルー トファンが増えることを願っています」 と熱い思いを付け加える。

透明感がある、優しい音色だが 難しい楽器

ピッコロからコントラバスフルートま

で、大小7種類のフルートが奏でるフ ルートオーケストラの音域は、6オクター ブ以上。

湖笛の会の皆さん

フルートは透明感がある優しい音色 だが、音色とは裏腹に難しい楽器で、 高いテクニックが要求される。それ ゆえ、メンバーは日ごろ、フルート

奏者や指導者と して多忙なスケ ジュールをこな しながら自宅練 習に励み、美し いハーモニーを 保つ努力を続け ている。



「東京にお知り合いが

おられたら、ぜひ紹介して下さい。東 京方面にご旅行を兼ねてお出かけいた だいても」と松山さん。

●料金:4,000円

湖笛の会コンサート in Tokyo

●会場:津田ホール

●開演:19:00(開場18:30)

(前売り3,500円)

JR干駄ヶ谷駅徒歩2分 渋谷区干駄ヶ谷1-18-24

取材時、美しいフルートの音色を聴い ていると、壮大な琵琶湖の風景を目の 当たりに見た思いがした。

メンバーのみなさんのますますのご活 躍を期待したい。 (取材・鋒山)

詳しくは www.gaido.jp/2651



湖笛の会 ●TEL:0748-74-0406

●メール: info@umibue.com

● HP: http://www.umibue.com

滋賀生活情報紙【Oh!Me】はお近くの 毎日新聞販売店からお届けしています。



フルートで美しい琵琶湖を表現

5月22日の東京公演では「琵琶湖から のおくりもの」と題して、四季おりおり の美しい琵琶湖をフルートで表現する。 「この機会に滋賀県の素敵な文化の香 りをいっぱい、東京に吹き込んできま **す」**とメンバーは張り切っている。

